



6/17 恒久の平和を祈る 令和8年度白鷹町戦没者追悼式

この日、令和8年度白鷹町戦没者追悼式が、白鷹町中央公民館にて開催され、遺族会を中心に約40名が参列し、850名を超える町戦没者のご冥福を祈り、平和への誓いを新たにしました。

平和へのメッセージとして、白鷹中学校3年生の青木煌志さんより、今この瞬間も戦争の苦しみの中にいる人々がいることを忘れてはならないこと、佐藤愛里さんより、戦争を他人事とせず世界みんなが笑い合って過ごせるよう考え取り組んでいきたいと、記憶を受け継ぐ強い思いが述べられました。

▶ 平和へのメッセージを述べる
佐藤さん(左)と青木さん(右)

▼ 式典の様子



6/22 「聴こえ」から学ぶ認知症予防 ヒアリングフレイル講演会を開催

この日、「ヒアリングフレイル」をテーマに、(株)聴脳科学総合研究所代表取締役・所長の中石真一路さんを招いて講演会を開催しました。

難聴になるとスムーズな会話が困難になり、外出や人との交流を避けるようになるため、認知症などを発症しやすくなるとの解説がありました。予防策として、血流をよくする耳の体操や食生活に気を付けることをご紹介いただきました。多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。



▲ 講演会の様子

7/3 和紙すき技術の継承に向けて 地域おこし協力隊に新たに2名が着任

この日、新たに町の地域おこし協力隊に着任した秋葉郁人さんと今村翼さんに田宮町長から委嘱状が交付されました。

秋葉さんは山形市出身で、山形の伝統文化を継承し地域の風土とともに価値あるものを発信していきたいと地域おこし協力隊に応募、Jターンされました。

和歌山県出身の今村さんは、春に白鷹町を訪れ和紙生産の工程の一部を体験したことをきっかけに、伝統あるものをつないでいきたいと応募されました。ともに深山和紙漉きの継承および保存に向けた活動に取り組み、町のPR・魅力発信にも協力いただきます。



▲ 委嘱状を手にする今村さん(左)と秋葉さん(右)



6/4

人権について学ぶ機会に 荒砥小学校で人権の花植えを実施

町内各小学校を対象に、毎年実施している「人権の花運動」。この日は、荒砥小学校を会場に4年生の児童たちが人権擁護委員の方々と一緒にプランターへの花植えを実施しました。

作業のはじめに、委員の方が「花にも命がある。力を合わせて美しい花を育て、花の命を守りましょう」と命の大切さを児童たちに伝え、児童たちは受け取った花を丁寧に植え付けました。作業が終わると、美しい花々が学校の玄関を彩っており、植栽活動を通して人権について考える良い機会になりました。



▲花植え作業終了後に記念撮影

6/10

鮎の漁獲量拡大を願って― 最上川で鮎の稚魚を放流

6月10日と11日の2日間にわたり、西置賜漁業協同組合白鷹支部(小林宣好支部長)による鮎の放流活動が行われました。

この活動は、近年、カワウやブラックバスなどの食害により、鮎の漁獲量が減少していることから、漁獲量拡大を目的として毎年行っており、今回は、最上川流域数力所で、約290kgの鮎の稚魚が放流されました。

組合員らの手により丁寧に放流された鮎の稚魚たちは、勢いよく広大な最上川へと泳いで行きました。



▲稚魚放流の様子

6/16

長年にわたる功績をたたえて 全国検察審査協会連合会表彰を受賞

和田敏昭さん(荒砥乙)が全国検察審査協会連合会表彰を受賞され、田宮町長より賞状が伝達されました。

和田さんは、常に前向きな姿勢で制度の重要性を立哨や広報活動を通じて訴え続け、また、高齢化や会員減少が進む同地区のとりまとめ役として、会員の親睦や普及発展に寄与し、今回から理事に抜擢されました。年齢的にも円熟期でポジティブなことから、今後の陣頭指揮者となられることが期待されています。このたびの受賞誠におめでとうございます。



▲賞状を手にする和田さん